



9月の園だより

回覧

令和7年8月29日（金） 羽茂こども園 副園長 吉田 歩

記録的な大雨のため、各地で大きな被害が出ていることを考えると、心が痛みます。幸い羽茂こども園は園庭の土や砂が流れて段差が生じたりすることはありませんでしたが、大きな被害もなく、安堵しています。また、保護者の皆さまには、大雨の際、急なお迎えの対応や休園に伴う家庭保育等にご協力いただきましたこと、大変感謝申し上げます。日頃の防災対策を再確認し、子ども達の安全を守りながら、保育をしていきたいと思ひます。

感染症の流行などもあります、子ども達が元気に登園し、思い切り水遊びを楽しんだり、カブトムシなどの夏の生き物に夢中になっていたりする姿から夏を満喫していることが伝わってきました。



9月の行事予定

日	曜日	予定	対象クラス
5日	金	布団の手入れ	全園児
12日	金	行事食	全園児
15日	月	敬老の日	
18日	木	誕生日給食	全園児
19日	金	祖父母参観 / 布団の手入れ	全園児 / 全園児
20日	土	第2回環境整備作業（保護者会）	かわせみ組・きじ組・あひる組・ひよこ組保護者
22日	月	夕涼み会（保護者会主催）	全園児
23日	火	秋分の日	
26日	金	親子遠足（0・1・2歳児）	つばめ組・あひる組・ひよこ組

※火災を想定した避難訓練を行います。

※身体測定の日程につきましては、アプリ  コドモンのカレンダーよりご確認ください。

10月の主な行事予定・・・4日(土) 第2回環境整備作業予備日

・15日(水) 内科検診 ・23日(木) 歯科検診

教育実習

下記の日程で、専門学生が教育実習に来園します。
たくさん遊んで、楽しみたいと思います。

＜教育実習＞

日程：9月1日～9月12日

国際こども・福祉カレッジ1年生

新しい友だちを紹介します

9月17日より入園します。

ひよこ組

かとう じゅり さん 

よろしくお願いします

9月うまれの友だちを紹介します



☆かわせみぐみ（5さい）

いのまた かな さん

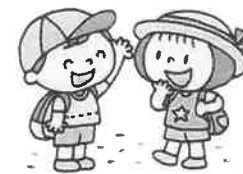
☆あひるぐみ（2さい）

たけい つばさ さん

おたんじょうび
おめでとう！


保育園留学園児の紹介

先日保育園留学で来ていたご家庭から留学最終日にお手紙をいただきました。「来る前の不安はなんだったんだろうと思うくらいなじんだ様子だった」「羽茂の子どもになれてよかったです」と、ご両親からとても嬉しいお言葉をいただきました。



元気だね！！

8月31日で退園することになりましたので、お知らせします。

*きじ組 わたなべ あお さん

また羽茂こども園に遊びに来てね！



関わり合いから遊びが広がっていく

4・5歳児がお菓子屋さんや宝石屋さんなど、お店屋さんごっこを展開して遊ぶ姿がありました。家族とのお店での買い物など身近な経験が遊びの中に生きていて、店員になりきった口調でお客さんとの会話を楽しんでいる子ども達の様子が見られました。レジヤ向かい合ってやりとりがしやすい棚があったりすることで、お店屋さんごっこのやりとりが始まったり、キャップに折り紙をかぶせて丸めた物が宝石に見えて、それを販売しようと考えたり、きっかけは様々ですが、自ら遊びを展開していく子ども達の姿一つ一つに成長を感じます。



また、各保育室で展開していたお店屋さんごっこですが、楽しそうな遊びの様子から、自然と異年齢での関わりが生まれていました。2歳児つばめ組の子ども達が年上のクラスに遊びに行くと、店員になりきっていた4・5歳児の子ども達はより丁寧にやりとりをしたり、買い物の仕方を知らせたりしている姿に子ども達の優しさを感じ、素敵な関わり合いだと思いました。



面白いと感じたのは、2歳児の子ども達が、年上のクラスでお店屋さんごっこのやりとりを体験したことで、自分達の保育室でお店屋さんごっこのような遊びが始まったことです。“年上の子ども達と遊び、感じたことを今度は自分達がやってみる”その姿を見て、異年齢での関わりが子ども達の発達にとっても良い刺激となっていることがわかります。



4歳児かわせみ組の子ども達は、保育室のお店屋さんにお客さんがあまり来ないことについて、サークルタイムで話し合った結果、移動販売車を作ることを思いつき、さらに買い物のやりとりを楽しむようになっています。



裏面に、園長「はもちのほいく」があります。こちらも含めてご覧ください。



今年の夏は酷暑続き。水不足も心配され、あんなにも待ち遠しかった雨だったのに、久しぶりの降雨がまさかの災害級の大雨となり、この羽茂地区にも大きな被害をもたらしました。羽茂こども園は土砂災害警戒区域に指定されているため、避難指示が出たことにより、お迎えや休園をお願いすることとなりました。保護者のみなさまには、急なお願いにも関わらず、ご協力いただき心より感謝申し上げます。未だ復旧できていない箇所も多く、被害にあわれたみなさまには、心よりお見舞い申し上げます。

そんな慌ただしい8月も、もうすぐ終わろうとしています。今年の夏の最後を彩るかのように、先週は鼓童のアースセレブレーション、そして、今週末は小木祭りと、子ども達にとってもワクワクする日々が続きます。佐渡でしか味わえないこのような地域とのつながりや経験から、子ども達は多くを吸収し、地元を愛する心豊かな子ども達へ育つのだと思います。

クラスミーティングを通して

羽茂こども園では、昨年度より園内研修の1つとして、クラスミーティングに取り組んでいます。各クラス、事前に撮影した子ども達の遊びの様子をクラスミーティング内で観ながら、一緒に過ごしている時には気づかなかった子どもの気持ちについて話し合ったり、保育室の環境について考察したりしています。この取り組みが、保育の質の向上につながると考え、クラスミーティングを始めました。



クラスミーティングの様子

先日は、0歳児ひよこ組のクラスミーティングを行いました。参加者はクラス担任・園長・副園長です。

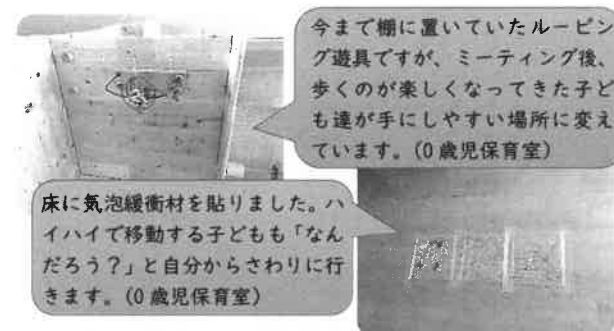
事前に撮影した子ども達の姿から、「この時～って思っていたのかもね。興味持っていて関わっている姿だね。」「このシフォンスカーフのカーテンに自分から関わろうとするように、もう少し置く場所を変えようか？」など、子どもの気持ちを深掘りしたり、環境についての気づきを言葉にしたりしていました。

また、翌日に行われたつばめ組のクラスミーティングでは、環境構成に視点を置いて、話し合いました。その中で担任は子ども達の姿から、「生活動線（トイレ、手洗い）などの近くに、玩具や遊びのコーナーを置くと、ぶつかったり踏まれたりして、遊びが中断してしまうし、トラブルも多くなる。」ということに気づいていました。

このクラスミーティングを始めて、職員の保育に対する思いの変化に気づくことがあります。

前述の2クラスのミーティング後、クラス担任はすぐに、環境構成を変えました。他のクラスのミーティング後も、同じような職員の姿が見られます。「子どもが自ら関わろうとする環境」を目指し、ミーティングでの気づきを基に、クラス内の職員で相談しながら環境を変えていく姿を、私は園長として、とても嬉しく感じています。

「子どもが自ら育とうとする力」を信じ、私たち保育者が子ども達にとって、よき理解者、よき援助者になれるよう、このクラスミーティングを通して、子どもをみる目を養っていきたいと思っています。



今まで棚に置いていたルーピング玩具ですが、ミーティング後、歩くのが楽しくなってきた子ども達が手にしやすい場所に変えています。(0歳児保育室)

床に気泡緩衝材を貼りました。ハイハイで移動する子どもも「なんだろう？」と自分からさわりに行きます。(0歳児保育室)



生まれて初めての一步を踏み出す瞬間をミーティング内で共有したりもします。記念すべきその瞬間に立ち会える保育者という仕事の素晴らしさを感じます。

0歳児
初めての
一歩

クラスミーティングの取り組みは、まだまだ試行錯誤の段階です。これから子どもを真ん中に置き、子ども達にとってよりよい環境とは何か、よりよい関わりとはどういうものかを職員と共に考え続けていきます。